

## 次代のために前進しよう、創始の志を胸に

### — Let Us Go Forth With Our Mission —

社団法人加古川青年会議所 理事長 前川 真一郎

まだまだ暑いある休日のお昼過ぎ、子供に急かれ外に出てみると、赤とんぼが飛んでいました。そういえば蝉の鳴き声がしないな、なんて馬鹿なこと思い、如何に、普段、心に余裕のない生活をしているかに気が付きました。2、3年前、スローライフなんて言葉が流行りましたが、つまらない情報ばかりを追いかけて、ゆったりと秋の虫たちの大合唱を聞くなんていうのもいいかもしれないなと、何とは無しに物思いにふけてしまいました。

さて、9月も半ばを過ぎました。加古川青年会議所では、入会するためには、3か月の準会員研修を受けることになっています。本年は7～9月を準会員研修期間としておりますので、そろそろ終わりに近づいているということになります。その後、理事会で承認するか否かの決議を行うルールになっていますが、最後に、準会員の皆様と互いに意思を確かめ合う理事面談というのを行っております。その際に、ある準会員の方から「なぜ、もっと青年会議所の活動や運動の素晴らしさをアピールしないのでしょうか。」というようなことを言われました。黒子に徹することを美德としています青年会議所ではありますが、入会しないとどんな団体なのか分からないというのも問題に思い、青年会議所活動を6年間やり続けております私なりに考える青年会議所の社会的価値の一片について少し述べてみたいと思います。

ここ数年来、とどまるところを知らない食品偽装の問題、産地偽装、消費期限偽装、品質表示偽装、偽装転売・・・etc、ばれなきやなんだっていいと思っているのか、生きていくためには仕方がないとでも思っているのか、呆れるばかりです。その他にも、耐震偽装、偽装請負、年金問題も偽装のようなものです。いずれにしても社会全般的にモラルが著しく低下してきていることは間違いありません。

そんな時代だからこそ、私たち青年会議所の価値があると考えています。青年会議所は、日本において711の地域に存在します。すべて独立した別団体ですが、“明るい豊かな社会を築き上げる”という目的で一致しています。2008年度社団法人加古川青年会議所は、地域教育と地球環境の二つのテーマを掲げ活動していますが、それもその目的達成のために他なりません。

私たち青年会議所は、一生懸命活動すればするほど、“明るい豊かな社会を築き上げる”ということについて真剣に考えます。毎日、毎日、何年も、何年も、

です。しかも、正々堂々と青年会議所以外の方々にそのことを伝え、様々な事業を通じ、実践していきます。今の世の中、恥ずかしげもなくそんなことが言える団体も、おそらく少数派になってきているのではないのでしょうか。例えが適切ではないかもしれませんが、私は2年前、80キロあった体重を10カ月ほどで20キロ近く落としました。やっていたことは、毎日毎日体重計にのって、簡単な体操を繰り返していただけです。みんなに「病気か？」と言われましたが、健康そのものです。『継続は力なり』なんて言いますが、本当に続けるということは物凄い力です。やや話が脱線しましたが、前述の通り、青年会議所では、“明るい豊かな社会を築き上げる”なんてことを何年も繰り返します。『継続は力なり』です。それは、ただ単なる合言葉から、やがて血となり骨となり、いわば信条となり、信念となります。これは、私生活においても、そして生業においても、必ずや活かされます。「なんだ、そんなことか、しかも個人的なメリットじゃないか。」そう言われるかもしれません。しかし、私も含め、入会時点において、“明るい豊かな社会を築き上げる”なんてことを微塵も考えてもいなかった人がほとんどですから、今の世の中における社会的価値は計り知れません。青年会議所は『大人の学校である。』なんて言われるのはそのあたりにあるのだと考えています。

そんな青年会議所ですが、ご存じのとおり、私たちの大先輩であります麻生太郎衆議院議員が、9月24日内閣総理大臣に就任されました。そして、翌25日、同じく私たちの大先輩であります小泉純一郎元内閣総理大臣が、今季限りでの引退を表明しました。ご意見は色々あるかと思いますが、事実であります。

秋の夜長、虫たちの大合唱に耳を傾けながら、日本の、世界の未来を想い、またもや、何とは無しに物思いにふけてしまいました。

乱文のところ最後までお読み頂き、誠に有難うございました。